

宿泊者数の全国微増と地域ごとの差

研究報告書／2026年9月7日

要旨

2025年の全国延べ宿泊者数は6.61億人泊で、2024年比0.31%増だった。外国人分は1,546万人泊増え、日本人分は1,342万人泊減った。全国合計が2019年を上回っても、47都道府県のうち19では2019年の水準に届いていない。

1. 目的と対象

公表表の集計値について期間と分母をそろえて比較した。観光庁の確定値推移表から2019年・2024年・2025年を抽出。都道府県と全国を区別し、延べ人数を人泊で集計した。2026年の新しい層化基準による値は接続していない。

原表の位置と選択理由

旧1-1が延べ宿泊者数、旧2-1が日本人分、旧3-1が外国人分。全国は5行目、都道府県は6～52行目。2019年はJ列、2024年はO列、2025年はP列。53行目に確定値の注記がある。直近の通年比較と感染症流行前の2019年比較を併記する。2026年は層化基準が従業者数から客室数に変わるため含めない。

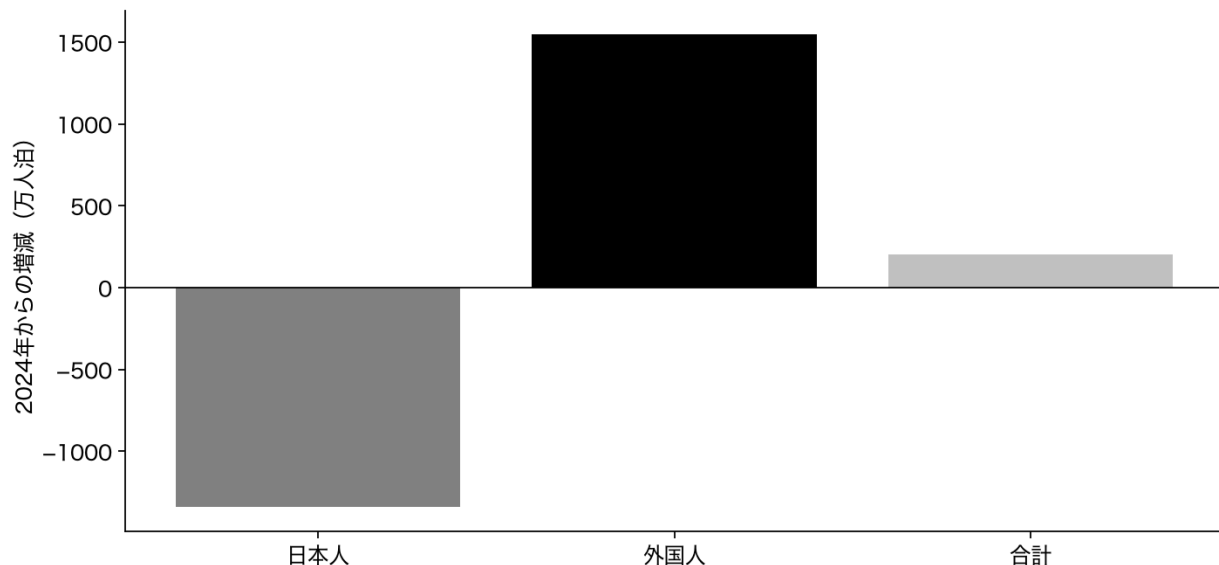
2. 算出方法

2024年比＝（2025年人泊÷2024年人泊－1）×100。内訳差＝2025年の各人泊－2024年の各人泊。2019年未満の県数は、各都道府県について2025年人泊<2019年人泊となる件数を数える。表示時だけ丸めている。欠測のゼロ置換と推定補完は実施していない。

3. 計算結果と原表の照合

区分	2024年（人泊）	2025年（人泊）	差（人泊）
全国合計	659,064,530	661,105,480	2,040,950
日本人	494,601,930	481,183,350	-13,418,580
外国人	164,462,600	179,922,130	15,459,530

全国の日本人延べ宿泊は494,601,930人泊から481,183,350人泊へ減少。外国人分の増加15,459,530人泊と日本人分の減少13,418,580人泊を合わせると、合計の増加2,040,950人泊に一致した。47都道府県の2025年値を加えると全国公表値より20人泊多かった。丸め差を特定の県へ加減して合わせる処理はしていない。全国と都道府県を同じ標本として数える重複集計も行っていない。



比較図

4. 限界

人泊は実人数ではない。全国の増減を各ホテルの売上増減と同一視しない。調査の推計値と丸め処理のため地域合計と全国値は一致しない場合がある。国内居住地・旅行目的・宿泊単価は分析していない。2019年との比較に観光政策や為替の因果効果は含めない。

検定は実施していない。公表集計表だけを根拠として、個々の世帯や施設について独立した標本があるとみなす検定は行わない。個票や標本設計別の分散情報は今回使用していない。大小の比較と統計的に有意な差を区別する。

5. 再現資料

集計.csvに抽出値と計算列を保存した。results.jsonには結果と原本のSHA-256を記録。分析コードは03-household/analyze_official.pyに共通処理を置く。検証コードverify_official.pyでは別の表読込と十進数計算を使用した。準備フォルダの原本は変更していない。

6. 業務で追加するデータ

施設の宿泊日別販売室数・販売可能室数・売上があれば、客室稼働率と平均単価を分けられる。所在県の人泊をその施設の予約数に直接置き換えず比較する。

参考資料

- ・[観光庁 宿泊旅行統計調査](#)
- ・[確定値を含む推移表](#)

公表表を加工して作成。査読を受けた学術論文ではない。